

スキルやスキを地域に活かせる!

はじめよう

プロボノ!

参加
無料

実践者3人が語る はじめの一步

11/14 土

13:30~15:30

(13:00受付開始)

15:30からは入退場自由の交流会

会場

とよた市民活動センター ホール

定員

20名(先着順)

第1部

プロボノトークセッション 13:30~14:30

スキルだけでなく自分の好きも活かす「プロボノ※」とは何か?活動の意義や楽しさを、プロボノコーディネーター津田詩織さんが解説。さらに、実際プロボノを実践した3名のゲストから、はじめたきっかけや、やってみて感じたリアルな声をお聞きます。

プロボノとは...仕事のスキルや経験だけでなく、「遊び・学び・仕事」など、人生経験を社会で活かす取組のひとつ。

子どもたちに
生まれ育った街を
好きになって欲しい

好きや得意を
活かせる
生き方をしたい

職場や家庭以外の
コミュニティを
増やしたい

ちよつと外の世界へ
踏み出してみませんか?



ママボノとは?

「ママボノ」は、日本におけるプロボノの草分けの団体「認定NPO法人サービスグラント」が2013年から開始した、主に育児中や離職中のママによるプロボノ活動。

約2カ月チームでNPOの課題解決に取組み、子育てをしながら働く準備と、社会貢献を同時に行います。

認定NPO法人
サービスグラント
プロボノ
コーディネーター
(ママボノ担当)

津田 詩織さん

800名以上の
女性が参加
しています!



TOYOTAのプロボノ経験者

馬野 将昇さん

大手自動車製造会社で車載用電池の評価・開発に従事する二児の父。豊田市に18年暮らす中で、地域の歴史をもっと知り、子どもたちにもまちを好きになってほしいとの思いからプロボノ活動に参加。鎌倉街道の紙芝居制作や郷土カルタの動画づくり、小学校への音声録音訪問、ポスター制作など、次世代へ郷土の魅力を伝える活動に取り組んだ。



TOYOTAのプロボノ経験者

新聞 昭治さん

近年、自動車の電動化に向けた新サービスの企画・具現化に携わってきた。「会社卒業後に何をしたいか?」を考へ、定年再雇用を機にプロボノ活動に参加。豊田市郷土史研究会25周年企画で、AIも活用しながら紙芝居やカルタ動画、ポスター制作をサポート。業務で培った「俯瞰し、咀嚼してカタチにする」力が地域でも役立つことを実感している。



ママボノ経験者

高野 希望さん

保育業界の事業開発担当、5歳と0歳の母。ママボノには2021年度と2025年度に参加。1回目は育児中の新たな挑戦として参加し、NPO活動や異業種・異職種メンバーとの協働、互いの得意を活かすことの面白さを学んだ。2回目は出産前に参加し、小児病棟で子どもや家族に笑顔を届けるNPOの広報課題整理に取り組んだ。

ファシリテーター

株式会社eight 代表取締役・合同会社なんつな共同代表 鬼木 利瑛

第2部

スキル棚卸し+セッション 14:30~15:10

5~10分でできるミニワークで、「自分の強み」「提供できる価値」を書き出してみましょう。

第3部

プロボノ・ちょいボラ団体紹介 15:10~15:30

ミニワークで見つけた自分の経験や強みに合わせた、はじめの一步におすすめの団体をご紹介します。

エピローグ

15:30~16:30は入退場自由の交流会

【お申し込み】
右記QRコードより
お申し込みください。
申込締切 11月7日(土)



【お問い合わせ】

とよた市民活動センター (火曜定休)

☎0565-36-1730 【受付時間】10:00~17:15

✉tec@city.toyota.aichi.jp